

District  
2660

## Moriguchi Evening

Rotary Club

2022-2023

Weekly Bulletin

no.16

創立 2000年11月2日  
 例会日 木曜日 18:30-19:30  
 例会場 ホテル・アゴーラ大阪守口  
 事務局 守口市河原町10-5  
 ホテル・アゴーラ大阪守口5F  
 TEL06-6995-7440 FAX06-6995-7441

会長 福田 治夫  
 幹事 北山 展弘  
 会報担当 クラブ運営委員会  
 E-mail m-evening@msj.biglobe.ne.jp  
 http://www7b.biglobe.ne.jp/~

m-eveningrc/

イマジン  
ロータリー

- ◆国際ロータリー会長  
ジェニファーE.ジョーンズ
- ◆第2660地区ガバナー 宮里 唯子
- ◆クラブテーマ「イマジンロータリー」

## 本日例会 2023年 2月2日 (木) 第921回

担当：社会奉仕委員会

卓話：「よもやま話」

柳本 幹男 会員

## 前回例会 2023年 1月26日 (木) 第920回

1. 開 会 会 長
2. ロータリーソング「我等の生業」
3. ニコニコ箱報告(小計3,000円 累計291,000円)  
元古会員 クラブフォーラムよろしくお願ひします。
4. 会食
5. 幹事報告 長野副会長より  
○会議開催連絡  
1/28(土) ロータリー財団補助金管理セミナー開催  
柳本会長エレクト(現地出席)  
長野次年度幹事、小林次年度国際奉仕委員長(WE B出席)  
○次回例会開催日は2月2日(木)  
例会前18:00より定例理事会開催。
6. 出席報告(会員総数23名)  
1月26日 出席9名(自由出席)  
メイクアップ報告  
12月8日 出席18名 欠席5名 出席率78.26%  
(メイクアップ報告なし)
7. 会長の時間
8. 本日のプログラム  
担 当：会員組織委員会  
卓 話：クラブフォーラム  
テーマ「会員増強について」  
パネラー：元古会員増強委員長
9. 閉 会 会 長

## 次回例会 2023年 2月9日 (木) 第922回

担当：ライラ実行委員会

## 会長の時間

早いもので本日が1月最後の例会日となりました。昨日は地区のライラ委員会に北山幹事、長野ライラ実行委員長と共に出席してきました。地区への提出書類は出来上がってきまして、後は地区の財務委員会の承認を得れば全てがGOサインになります。その後は事細かく皆さんにお願いに上がらなければならないという段階になります。開催日は5月3～5日ですが、主催者側としては前日の2日も手の空いている方にご協力頂ければと思っておりますので、宜しくお願いします。

## INFORMATION

## 2月の予定

- 2日(木) 通常例会  
定例理事会開催  
卓話：社会奉仕委員会
- 9日(木) 通常例会  
卓話：ライラ実行委員会
- 16日(木) 親睦例会  
卓話：クラブ運営委員会
- 23日(木) 祝日休会



## ◆例会にご出席の皆様へ

- 出席義務は課しませんので、感染不安で欠席を希望される場合は、例会開催日の前日までに事務局までご連絡下さい。
- 現在、家庭内での感染が多数みられているため、同居のご家族を含め発熱・咳・倦怠感等の体調不良がある場合は例会への出席はお控えいただきますようご協力をお願いします。
- 会食時は、黙食にご協力下さい。

**卓話** クラブフォーラム  
 テーマ「会員増強について」  
 パネラー 元古会員増強委員長

本日は会員増強についてのフォーラムを開催します。様々なご意見、よろしくお願い致します。

**A テーブルの意見**

- ・ J C の卒業生（シニア J C）に入会の誘いを行っていく
- ・ 地域（守口）の労働範囲においては限りがあり、他地域への介入を広げていくように考えなければいけない
- ・ 現会員が身近なところから誘いを行っていく事が一番の近道ではないか
- ・ ロータリーは利益は求められないが、人脈は広げることができる、その点を理解して入会してもらう必要がある
- ・ 現会員のロータリーの理解と知識の向上を計っていかなければ、会員増強に繋がらない
- ・ 例会時に月一回、ロータリーの研修をおこなう

**B テーブルの意見**

- ・ 女性会員の増強を狙う（仕事を持っていない人でも良い）
- ・ 人となりを見てスカウトする必要がある
- ・ 旅行業界の人が欲しい
- ・ P T A の会長など、人脈と奉仕の精神のある人、奉仕に理解のある人に声をかける
- ・ 入会してもらうには、どのようなことをしているのかを知ってもらう、体験してもらう必要がある。今はコロナのことがあるので難しいところもあるが、間口を広くとって奉仕活動のイベント等を行い参加してもらう、興味を持ってもらうことが大事ではないか

**委員長まとめ**

本日は少人数でのフォーラムとなりましたが、これまでのフォーラムとは違った視点での意見もあり、有意義な意見交換ができたと思います。ご意見を参考に、会員増強に努めたいと思いますので、今後も皆様のご協力を宜しく申し上げます。

フォーラムへのご協力、有難うございました。

◆ロータリーの友1月号より  
 「ロータリーの友創刊70周年」

親愛なる日本のロータリー会員の皆様へ

「ロータリーの友」創刊70周年を記念し、日本のロータリー会員のこれまでの素晴らしい功績について記すことができ、大変うれしく思います。

日本のロータリーが100周年を迎えたのはつい2年前のことです。長年にわたり、日本のロータリー会員の皆様がロータリーのリーダーとして活躍され、特に環境プロジェクトへの支援や、最近ではウクライナでの救援活動において、リーダーシップを発揮されていることを誇りに思います。

ご存じの通り「DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)」は今日のロータリーの大きな焦点です。会員の皆様は、より多くの女性のクラブ入会を促すことを含め、障壁を取り除き、全ての会員にとって温かく包括的な体験を生み出すために、懸命に取り組んでいらっしゃるものと存じます。私は「友」がこの課題から手を引くことなく、日本中にもっと歓迎される環境づくりに向けて積極的な取り組みを続けていることを誇りに思います。また、会員にとっての居心地のよさと配慮を重視することで、日本の若い人たちがロータリーに目を向けるようになり、日本の8万5000人のロータリー会員がさらに増えることを期待しています。

ロータリーを「イマジン」する今年度、私は全てのロータリー会員に「ロータリー・モメント」を思い浮かべてもらうようお願いしています。人生を変えるような奉仕活動を行った時、あるいはクラブの会員や地域社会との特別な絆を感じた時など、皆さん特別な思い出があるのではないのでしょうか。

また「友」に体験談を寄稿していただくと、他の会員にインスピレーションを与え、ロータリーの発展のために会員が行っている活動をより深く理解することができます。皆様の会員増強と奉仕への献身に感謝します。日本におけるロータリーのさらなる成功を、心よりお祈り申し上げます。

2022-23年度 R I 会長

ジェニファー・ジョーンズ